加茂看護専門学校自己点検・自己評価（令和６～７年度）結果

Ⅰ．教育理念・教育目的／Ⅱ．教育目標・卒業生の特性

当校は愛知県厚生農業協同組合連合会（以下、JA 愛知厚生連とする）の基本理念に基づき、地域に貢献できる看護実践者の育成を使命としている。

令和４年度の第５次カリキュラム改正では、教育理念・目的・目標、卒業生の特性を見直し、改正の意図をディプロマポリシーに明示して相互の繋がりを強化した。入学時・入職時のオリエンテーション等で周知している。

令和７年度末のアンケートでは、３年生は 100%、1・2 年生の 80～90%が「教育目標・ディプロマポリシーを理解している」と回答しており、概ね良好である。

Ⅲ．教育課程経営

令和４年度のカリキュラム改正により、科目構成・到達目標・ディプロマポリシーとの関連性を明確化した。単位認定・履修方法は学生便覧に明記し、授業評価・実習評価も実施している。教育内容としては、第５次カリキュラム改正において求められていることが学べるよう新設科目を設定した。実習施設とは定期的に指導者会議を行い、実習目標・評価方法を共有している。学習機会確保のため、地域・在宅看護論・小児看護学実習では実習日程や施設数を調整した。

Ⅳ．教授・学習評価過程

学生自身の授業への姿勢評価と授業内容の理解を確認する目的で、講義４回以上の講師に対し、授業アンケートを実施している。結果は講師にも提示しており、学生の満足度は概ね高く、大きな問題はない。低評価の場合は講師と共有している。

Ⅴ．経営・管理過程

本校は、JA 愛知厚生連の理念に基づき、地域医療を担う看護師育成を目的として運営されている。職制規程により意思決定・業務分掌は明確化されている。

財政面においては、JA 愛知厚生連８病院から看護師確保の観点に基づく支援を受けながら運営を行っている。施設・設備については、新築移転から 17 年が経過しており、建物をはじめ設備の不具合が生じているが、修繕を重ねてより長く教育環境を維持できるよう整えている。

Ⅵ. 入学

一般入学試験、推薦入学試験、社会人入学試験を実施し、令和 7 年度から公募制一般推薦入学試験を導入。広報活動として、高校訪問・進路相談会への参加、オープンキャンパス、SNS 発信を行っている。

Ⅶ. 卒業・就職・進学

卒業時の自己評価は毎年実施し、教育目標・ディプロマポリシーの到達状況を確認している。卒業後の就職は過去数年 100%が JA 愛知厚生連病院である。

Ⅷ. 地域社会・国際交流

学校祭・広報活動などで地域と交流しているが、地域ニーズを体系的に把握する仕組みは未構築。第 5 次カリキュラム改正で「地域と暮らし」「ポルトガル語」を導入し、地域特性に応じた教育を強化した。外国の高校卒業者を対象とした入学資格審査制度を設けている。卒業後の支援では、海外での就業希望者に対し、卒業証明書および成績証明書の英訳発行等、個別に対応している。

Ⅸ. 研究

研究については、JA 愛知厚生連看護師会にて看護研究発表会が毎年実施されており、当校も 2019 年に発表している。現在、研究チームを立ち上げ、看護教育に関する研究に取り組めるよう準備中である。